

フランスに到着してから約 3 カ月が経過しました。ようやく身の回りのすべてがそろい、生活のシステムにも慣れ、日常生活が安定してきたというところです。この街にもだいぶ慣れ、少し旅行に行つて街に戻つてくると、故郷に帰つてきたような安心感を得られるほどになりました。

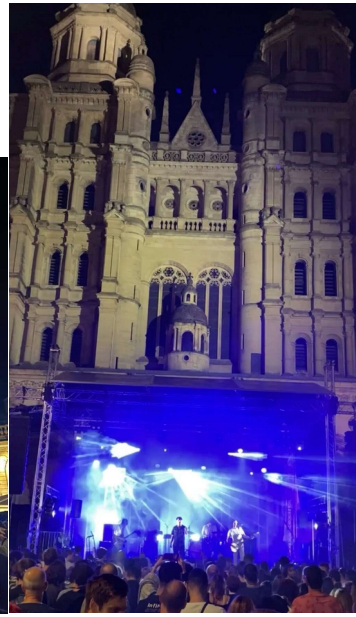
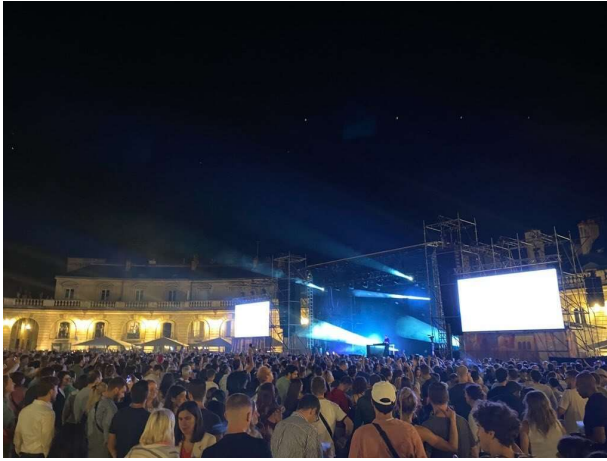
今回はフランスで主な交通手段として使われるトラム (tram) (路面電車)を紹介したいと思います。寮から学校まで、お買い物に行くときなどいつもこのトラムを使って移動をしています。



なれないうちは大変ですが慣れてくるととても便利です。システムとしては乗る際に一番近くにある機械にカードをかざすだけです。それをやらなくてものりことができますが、見回りの人が定期的に循環をしているので、カードをかざしていなければ罰金を支払うことになります。私は定期券を持っていますが、一回券や回数券、1日券なども乗り場にある機械で簡単に購入することができます。利用している人がとても多く、個人で車を使用するよりはるかにエネルギー消費を削減していると考えます。また、同じ会社が運営している交通手段のひとつに自転車があり、これも簡単に使用することができます。各地に設置されている自転車は30分までは無料で借りることができ、1日でも2ユーロ以下で借りられます。これらのシステムは日本の大きな町では広まってきているように思いますが、この街の普及率はとても高く便利だと思いました。しかし、問題点があります。それはストライキによって時間が変動することが多々起こる点です。ストライキの多いフランスはその影響を受けやすく、注意する必要があります。私も、約束があるにもかかわらず、バスが時間になっても来ないために、自転車を飛ばしたことが何度もあります。先日、日本に帰った友達がいるのですが、その友達も運悪く朝トラムが動かず、駅まで大量の荷物を持って歩きました。こんなとき日本の電車が恋しくなります。

次にフランスで行われているイベントを紹介します。

先日大きなコンサートがありました。中心街に大きなステージが設置され、いろいろなアーティストがコンサートを行いました。これはだれでも見ることができ、お金もかかりません。そのステージに行くまでの道に警備員のような人がいて荷物をチェックされますがそれ以外に特別なことは何もありません。



たくさんの人で盛り上がっていました。7月にもフランス革命の日（14日）が祝日になり、花火が湖で行われました。6月は音楽の祭りがあり道のいたるところで伝統音楽が演奏されていました。このようにフランスでは多くのフェスティバルが開催されています。自分で調べなくとも、どこからか勝手に情報が入ってきて、寮やクラスのみんなで行きます。すると、会場にも友達がいる、どんどん友達の輪が広がっていきます。

私の通っている学校は、語学学校のため、学校の長期期間の休みだけに来たという生徒や、フランスの学校に行く前の準備として来る生徒など期間が短い人もたくさんおり、人の入れ替わりが頻度にあります。そのため仲良くなってもすぐにお別れになってしまったり、週ごとに新しい人が入ってきたりしてはじめはなかなか慣れませんでした。しかし、これらの経験を通し、初めて会う人ともうまくコミュニケーションを取ることができるようになりました。例えば、イベントに行った際なども、友達の友達や、またその友達までもと一緒に時間を過ごすことが大いにあります。はじめは知っている人とはしか話していませんでしたが、今では、素敵な機会だと捉え、自分から話しかけられるようになりました。9月からはまたたくさんの生徒が増えると思うので素敵な人にたくさん出会いたいです。